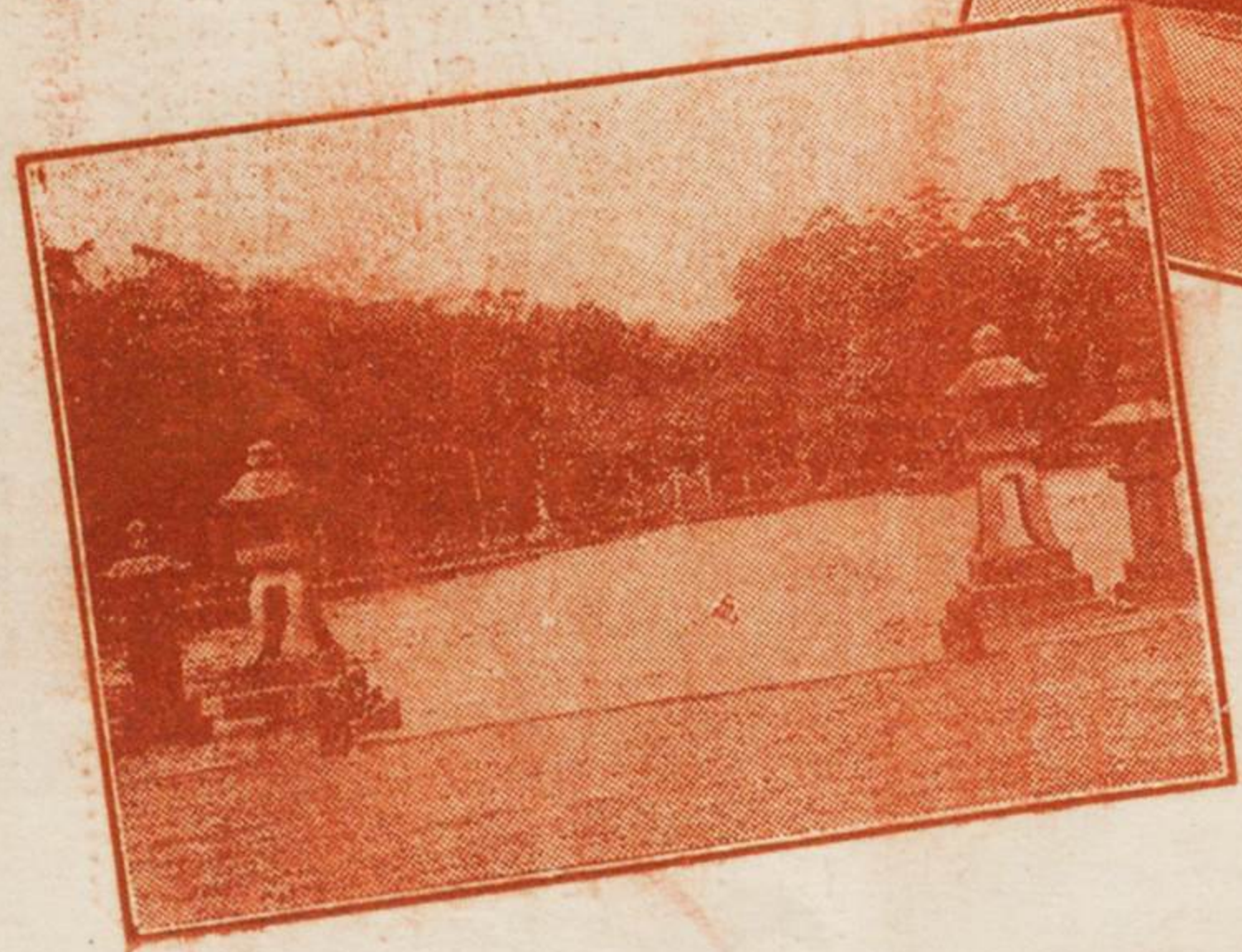
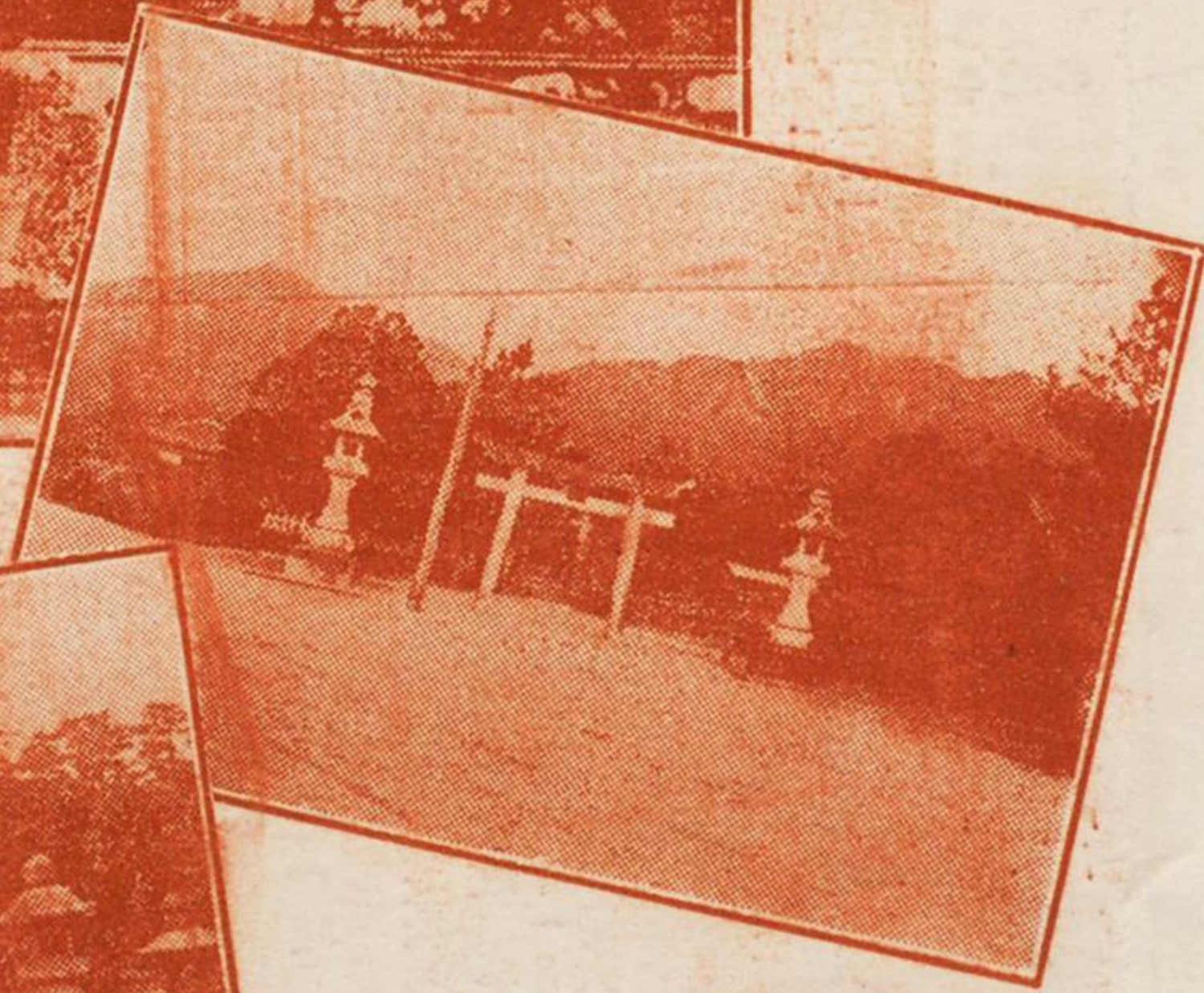
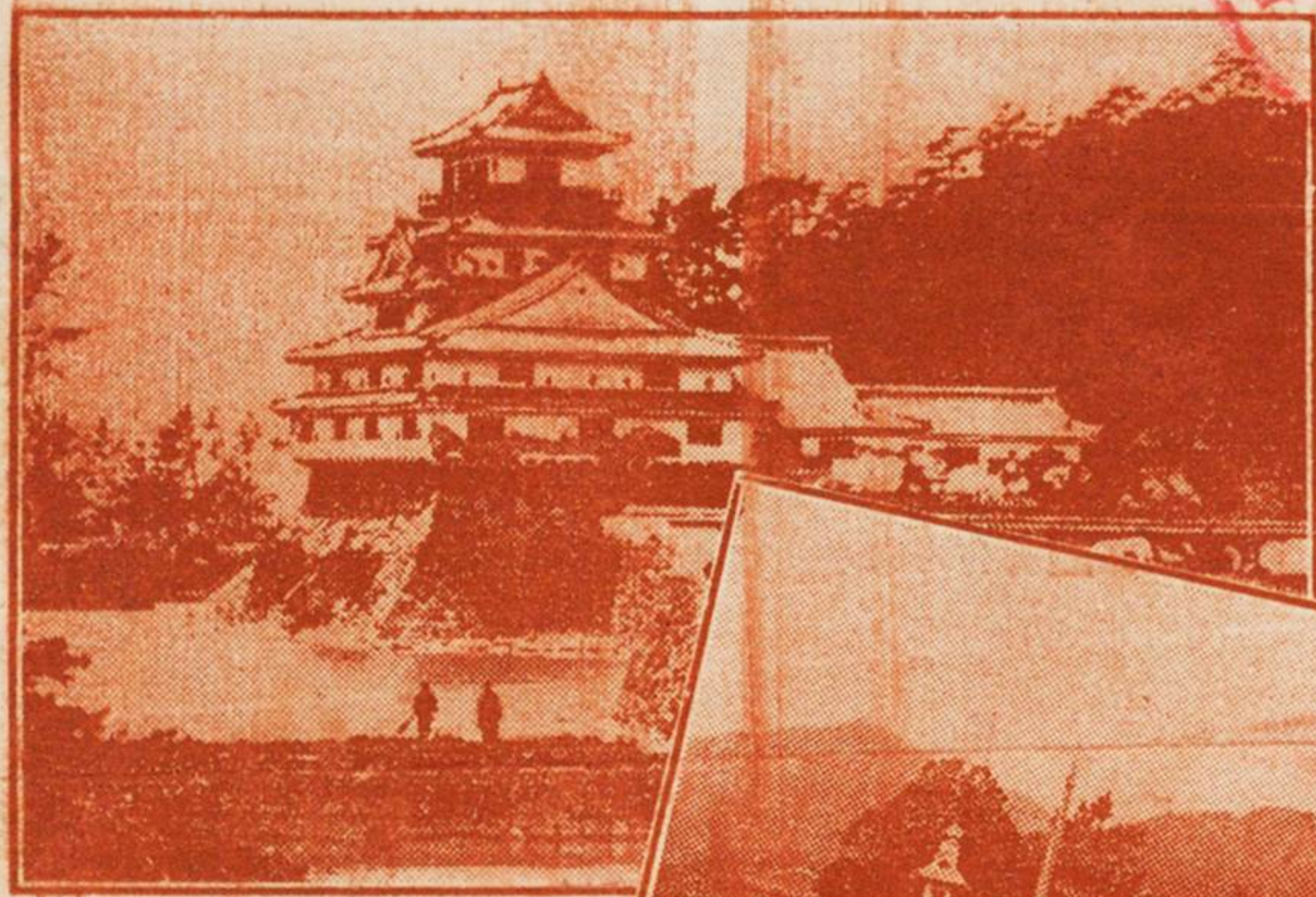


# 報月萩

號四十二第



號月三年五和昭

行發町萩縣口山







## 時事提唱

今回の衆議院議員総選挙に於ける萩町四投票區全體を通じ前回の夫れと比較するときには別項一覽表に示す如く選挙當日の有権者數に於て四十名多く而も投票者數に於て百五十一名を増加せり即ち棄権者數を減少したること百十一名の多きに及び其の棄権者の歩合に於て前回の一割九分三厘に比し一割七分三厘を保つに至りたることは俱に慶賀に堪へざる所なりとす

昭和五年度萩町一般會計歳入出豫算は現下財政緊縮の急務なるに鑑み歳計總額を參拾五萬六千五百壹圓と爲し町會に提案せり即ち昭和四年度に於ける年度初めの豫算總額四拾萬九千貳百參拾壹圓に對比し五萬貳千七百參拾圓を減少せるものにして之に應ずる歳入に付ては歳出費額の節約に基く收入減の外上級團體の補助額を削減せられ並特別會計より繰入金の自然減少等に依り町税に於ては特別税戸數割一戸平均額を貳拾壹圓六拾錢と爲し雜種税附加税に屬する不動産取得税の附加課率の壹圓五拾錢を壹圓參拾錢に低下し以て歳計總額を定むることとせり其の詳細は次號に再説すべし

青年訓練所入所奨勵大正二年四月一日より大正三年三月三十一日までの間に出生したる者の内中等學校在學者を除く外は來る四月一日を以て悉く萩町内公立青年訓練所に入所すべき筈なるに依り關係の區長役場より其の通知書を受領したる者は進んで出席の旨を申出で將來の中堅青年として耻ぢざるの素地を築くべく要望して已まざるものなり

二月分徴収の納税成績二月末日納期の國税田租第二期分は完納の成績を收めたるに反し特別税戸數割第



三期分に在りては二月末日現在に於て滞納者千二百六十四人其の税額六千四拾七圓の多きを算するが如きは縣下最右翼の自治團體を以て任ずる萩町現勢の促進上遺憾に堪へず之を要するに今後萩町の各種納税を通じ毎期完納の美績を持続するに於ては一箇年中少くとも四千五百餘圓の冗費を節約することに鑑み自他兩方面の爲大なる反省を促さざるを得ざるなり

### 庶般行政

#### 宮廷録事

◎天皇 皇后兩陛下には二月五日神奈川縣葉山へ行幸啓あらせられたり。

◎講書始の儀 一月三十一日午前十時講書始の儀を行はせられ三浦京都帝國大學教授は日本書記孝徳天皇紀を、塩谷東京帝國大學教授は尙書の一節(昭和元號の出典)を、横田帝國學士院會員は「フランソアジェニー」の解釋法に就て進講せり。

◎紀元節祭 二月十一日紀元節祭の儀を行はせられ尙正午紀元節宴會を催させられたり。

◎二月四日宮内省告示第五號を以て宣仁親王殿下は二月四日公爵徳川慶光姉君喜久子姫と御結婚あらせられたる旨公示せらる。

◎祈年祭班幣 二月四日官國幣社祈年祭班幣相濟みたり。

◎皇族結婚式並朝見 宣仁親王殿下には二月四日午前九時、賢所大前に於て結婚の禮を行はれ訖て宣仁親王同妃兩殿下 皇靈殿 神殿拜禮あらせられ又同日午後三時參内朝見の儀同四時皇太后に朝見の儀を濟ませられたり。

◎還幸及行幸 天皇陛下は二月十日神奈川縣葉山より還幸同十二日再び同地へ行幸あらせられたり。

#### 選舉事務打合せ

二月七日午前十時より町衙に於て本縣主催の下に阿武郡各町村投票區投票管理者及主務者を會同し原田本縣事務官砂田縣屬臨席今回衆議院議員總選舉に關する事務の打合せを開催し午後三時閉會したり

#### 萩町に於ける衆議院議員總選舉の狀況

二月二十日午前七時より午後六時迄萩區投票所は明倫小學校講堂に於て投票管理者林町長投票立會人八道八十一、田中一郎、厚東義輔の三氏、椿東區投票所は椿東記念館に於て投票管理者岡田町書記投票立會人吉賀善吉、桂默要、佐藤一熊、久保田伊七の四氏椿區投票所は椿西小學校に於て投票管理者平川町書記投票立會人藤田市熊、池田彌市、中谷朝助の三氏山田區投票所は奥玉江光山寺に於て投票管理者岡收入役投票立會人藤野萬吉、上田近藏、峠正義の三氏立會の下に何れも投票を開始し午後六時に至り一

齊に投票所を閉鎖し町公會堂に於ける阿武郡開票所に夫々滞りなく投票函を送致したり

類別	投票區名	萩	椿東區	椿	山田區	合計
名簿確定數	三、〇三	二、〇二	五、五四	九、九四	六、六七	
當日有權者數	二、九九	二、〇五	五、四七	九、八四	六、五四	
投票數	二、六八	一、四三	四、九二	七、七五	五、三六	
右の内						
特別投票數	五	一、六八	一	二〇	一九三	
棄權者數	三、八	五、七七	五	二、〇九	一、一六〇	
棄權者率	一、〇六	二、八六	一、〇二	二、一三	一、七七	

#### 萩町に於ける衆議院議員總選舉開票の狀況

二月二十二日午前八時より町公會堂に於て阿武郡開票所を開設管理者中田地方事務官開票立會人田中太郎吉、田坂信一、吉松毅章、山中三吉四氏列席の下に開票を開始し午後十一時全く終了せり  
萩町四投票區投票所に於ける無効投票數左の如し



投票總數	無效投票數	無效投票比率
萩區投票所	二、六八一	二二
椿東區投票所	一、四三八	一六
椿區投票所	四九一	二
山田投票所	七七五	一三
計	五、三八五	五二
阿武郡全區	一九、〇五四	一一六
投票所		〇、〇六一

### ●阿武郡町村長集會

二月八日午前十時三十分より當町衙に於て阿武郡町村長集會を開催、本郡教育會に對する寄附金、昭和五年度各町村豫算編成及昭和三年度萩町外二十三箇村造林組合歳入歳出決算認定並昭和五年度同組合歳入出豫算の件を附議し午後一時三十分閉會したり

### ●衆議院議員當選者

二月二十日本縣より選出せられたる衆議院議員當選者左の如し

第一選舉區	保良淺之助	久原房之助	庄 晋太郎
村岡 吾一			
第二選舉區	松岡 洋右	西村 茂生	澤本 與一
兒玉 右二	道源 權治		

### ●第一回町會

二月十二日午後一時四十五分より第二回町會を開會出席議員二十五名、左記の事項を附議し何れも原案の通可決確定午後二時半閉會せり  
因に昭和三年度決算の認定に付ては例に依り委員を設け附託其の調査をすることなれり  
一、昭和三年度萩町各種會計歳入歳出決算認定の件  
一、昭和三年度萩町一部會計歳入歳出決算認定の件  
一、町有地共用に關する件  
一、町立工業傳習所建物借入の件  
一、萩町公會堂敷地設定の件

- 一、前年度歳入繰上額減少の件
- 二、小學校基本財産繰入の件

### ●二月中に於ける本町各種委員會開催

- 二月六日午後二時より善行者表彰に關する件に付萩町善行者表彰審議委員會開催
- 二月六日午後二時半より公有林野中椿東區畦山不要存置地處分に關する件に付關係萩町林野整理委員會開催
- 二月二十四、五兩日、昭和三年度萩町各種會計並一部會計歳入歳出決算に關する町會側決算委員會開催
- 二月二十八日午前九時より昭和五年度教育費豫算に關し萩町學務委員會開催

### ●萩町區長集會

二月十五日午前十時より町公會堂に於て本年第二回

區長集會を開催。町長の挨拶に引續き左記提出事項十二件並萩町農會提出事項二件を附議し午後三時閉會せり

- 一、衆議院議員選舉有權者異動調査に關する件
  - 一、衆議院議員投票に關する件
  - 一、棄權防止宣傳ビラ配布に關する件
  - 一、開票所及其の日時に關する件
  - 一、火災豫防に關する件
  - 一、非常時信號に關する件
  - 一、萩月報資料報告方に關する件
  - 一、桑園改良増殖獎勵費補助申請に關する件
  - 一、産業統計調査委員會に關する件
  - 一、滯納矯弊懇談會決定事項周知に關する件
  - 一、納税督勵に關する件
  - 一、納税組合選奨に關する件
  - 一、西瓜種子共同購入取扱に關する件
  - 一、温床視察に關する件
- 以上萩町農會提出



◎萩町區長聯合會臨時總會

二月二十七日午前九時より町公會堂に於て萩町區長聯合會臨時總會を開催出席者七十八名。町政に關する協議を遂げ午後二時町衙に林町長を訪ひ其の議決に基き意見を開陳したり

◎叙任及辭令

海軍々令部出仕海軍大佐 杉山俊亮  
 補佐世保海軍航空隊司令 山本松四  
 從五位勳三等 山縣少介  
 同 荒地清介  
 叙正五位 伊木壽一  
 判事 山縣有道  
 陸叙高等官三等 正五位勳六等公爵  
 陸叙高等官四等 叙從四位  
 史料編纂官  
 以上萩町出身者

山口刑務所長典獄 齋藤敬二  
 補松江刑務所長 七戸大助  
 宮崎刑務所長典獄  
 補山口刑務所長  
 以上萩町關係者

□二月中發令の主要法令□

◎國の法規

◎二月十五日遞信省令第一號を以て船舶職員法施行細則を公布せらる  
 ◎二月十五日内閣訓令第一號を以て昭和五年國勢調査地方事務取扱規程を公布せらる  
 ◎二月十五日内閣訓令第二號を以て國勢調査員心得を公布せらる  
 ◎二月十七日農林省告示第六十七號を以て蠶絲業法施行心得を公布せらる  
 ◎二月十八日大藏省告示第三十六號を以て明治十七

年第十八號布告兌換銀行券條例に依り日本銀行より發行する兌換銀行券の内五圓券を改造し三月一日より發行する旨公布せらる

◎縣の法規

◎二月十四日山口縣訓令第四號を以て明治四十一年七月内務省令第十二號神社の財産登録及管理並會計に關する件第八條中、村社以下神社豫算認可の件を神社所在地の町村長に委任し昭和五年度分より施行する旨發令あり

◎萩町告示の主なるもの

一、大廣津町有地無料貸付の件  
 一、町會議決事項の件  
 一、衆議院議員選舉投票所の件  
 一、左掲萩町出火出水の際に於ける非常信號の件  
 ◎本町内出火又は出水の際に於ける「サイレン」に依る非常信號を左の通定め二月十三日より之を實施る

ことしせり

記

出火のとき

區域 音響符號

萩區一圓 一聲(正午時報の)を二回以上  
 樅東區一圓 二聲連續(正午時報の三分の)を二回以上  
 樅區一圓 三聲連續(正午時報の三分の)を二回以上  
 山田區一圓 四聲連續(正午時報の三分の)を二回以上  
 出水のとき

區域 音響符號  
 萩町一圓 長聲一聲(正午時報と同聲)を二回以上

◎私設萩消防組々頭異動

山田區藤ヶ瀬消防組々頭岩本秋三郎辭任に依り一月三十一日付左記の通就任せり  
 藤ヶ瀬消防組々頭 吉村傳



### ◎長門峽管理組合會

二月八日左の事件に付第一回組合會を萩町役場内組合役場に招集應招議員十名午後二時開會何れも原案の通可決午後四時閉會せり

- 一、昭和三年度萩町外四箇村長門峽管理組合歳入歳出決算認定の件
- 一、昭和五年度萩町外四箇村長門峽管理組合歳入歳出豫算の件
- 一、河川占用の件

### ◎萩町住民印鑑の確保に就て

本町には住民印鑑の確實を期する爲印鑑條例の定むる所に依り町役場に印鑑簿なるものが備付けてありますから本町住民にして印鑑の證明を受けんとする者は豫め町役場に印鑑の届出を爲さねばなりません此の印鑑なるものは一人に付一顆に限るのである所謂實印を謂ふのであります改印を爲したるときも亦同じ而して印鑑の届出なるものは最も重要な取扱を

爲すことゝなつておりますから万一人自ら出頭すること能はざる場合は届書に其の理由を明記して印鑑の突入用紙に其の印章を押捺したるものを貼付し且つ豫て町役場に印鑑の届出を爲したる成年者二人以上をして本人の印鑑に相違なきことを保證する旨を記載せしめ之に連署することを要するのであります又既に届出を爲したる印章を亡失したるときは直ちに其の旨を届出でねばなりません此の印鑑の確實を期する爲言を俟たぬことであります

### 旌表

#### ◎善行者表彰

二月十一日紀元節の佳辰に當り恒例に依る萩町善行者の表彰式を舉行せり其の表彰狀並事蹟概要左の如し

表 彰 狀	萩 町 目 代 區
區民協同一致シテ區内ノ發祥ニ努メ養蠶業ノ進歩並納税ノ施設共ニ成績ノ視ルヘキモノアリ仍テ茲ニ金一封ヲ授與シ其ノ成績ヲ表彰ス	萩町長從五位勳六等 林 勇 輔
昭和五年二月十一日	事 蹟 概 要

區民協同一致し産業の改良發達に勗め近時養蠶業の進歩著しく殊に租税及公課の納期を確守し其の成績視るべきもの尠からず同區の施設事業等左の如し

#### 一、致遠會

明治二十七年の創立に係り今日に至る滿三十五ヶ年に及ぶ其の第一期明治二十七年十一月より明治四十二年十二月に至る十五ヶ年間に中村正路氏會長に就職此の間積立金貳千五百圓を蓄積し之に依り元椿東村有林野を借受け杉一万本を植林す第二期明治四十三年一月より大正八年十二月に至る十ヶ年間三分一十次郎氏會長に就職此の間積立金千七百圓を蓄積し之に依り昭和三年目代區公會堂を建築第三期大正九年一月より昭和四年十二月に至る十ヶ年間長尾源作氏會長に就職此の間積立金千七百圓を蓄積し之を各戸に分配して町有林野の拂下を受け造林を行ふ豫定なり第四期昭和五年一月山本榮治氏會長に就職今日に至る

#### 二、納稅組合

大正三年納稅組合を設立し全區三十戸を三分し十戸毎に世話方一人を置き諸稅金を取纏め納期限に完納するを例とす

#### 三、養蠶組合

嘗てより養蠶組合を設立し大正五年費金百圓を以



て蠶具の共同消毒所を設置し其の他蠶種の共同購入、稚蠶の共同飼育及蠶種の共同催青を爲す等蠶桑の業に付ては専ら共同的作業を爲すを以て組合是とし昭和四年中に於ける總收繭量千四百貫其の飼育戸數二十一戸一戸當平均六十三貫を收め之に要する桑葉は各自之を栽培して自給自足を圖ることとせり

四、其の他

区内全戸共同して肥料を購入し専ら成分の配合を實行するに至り又道路の修繕の如きは区内各戸に其の區域を割り當て各自分擔して之に當るの外區長役場に於ける收支其の他に關する事務の整理最も良好なる等活躍の情勢賞揚すべきもの尠しとせす

昭和五年二月十一日

萩町長 林 勇 輔  
表 彰 狀

萩町山田第二區

田中共同貯蓄組合

組合員克ク和衷協同風教ノ改善公共事業ノ補助ニ努メ其ノ施設宜シキヲ得成績ノ視ルヘキモノアリ仍テ茲ニ金壹封ヲ授與シ其ノ成績ヲ表彰ス

昭和五年二月十一日

萩町長從五位勳六等 林 勇 輔  
事 蹟 概 要

萩町山田第二區

田中共同貯蓄組合

本組合は山田第二區の内田中部落の全部三十六戸より成り風教の改善及公共事業の補助を目的と爲し明治二十一年三月一日の設立に係り爾來今日に至る迄滿四十有三ヶ年間大田民藏氏之が組合長と爲り和衷協同の下に専ら其の目的の貫徹に努め一日も怠ることなし其の間本組合の施設したる事業概ね左の如し

一、資産の造成  
公共事業を補助し協同心の基礎を鞏固ならしむる爲明治二十一年設立當初より大正元年に至る廿有四年間組合員をして每一ヶ月金貳錢宛を醸出せ

しめ資金を造成することとせり而して其の資金を増殖するに付ては毎年三月一日總會の際入札の方法に依り組合員の肥料購入費に對し低利を以て之を貸付くることとし一面其の利殖金の一部を以て主として山林地を買入れ之が造林作業は組合員の勞力奉仕に依り以て資金の蓄積を圖り昭和四年三月一日現在不動産として杉造林地二町歩竹林地一町歩の外現金千七百餘圓を有し目下其の基礎健實を致し近時納税の成績亦極めて良好の域に向ひつゝあり

二、事業の成績

昭和三年末費金千貳百圓を支出し御大典記念事業として木間小學校の舊校舍を買入れ木造瓦葺平屋建三十五坪の田中公會堂を建築し組合員の集會所又は青年團の修養場等に充つることとし社會的施設の完成を期するに至れり其の他本組合の資金を割き貧困兒童の就學を奨励し及入營兵の家庭にして生計困難なる者に對し後援を爲すを例とす  
以上の如く長年月に涉り組合員擧つて家業に精進し協同輯睦の實視るべきものあり其の成績又顯著

なりとす仍て萩町善行者表彰規程に依り之を選奨する所以なり

昭和五年二月十一日

萩町長 林 勇 輔  
表 彰 狀

萩町立椿東尋常高等小學校々醫

山 本 公 房

多年校醫ノ職ニ在リテ力ヲ學校衛生ニ效シ貢獻スル所尠カラス仍テ茲ニ銀壹壹個ヲ授與シ之ヲ表彰ス

昭和五年二月十一日

萩町長從五位勳六等 林 勇 輔  
事 蹟 概 要

萩町立椿東尋常高等小學校々醫

山 本 公 房

明治三十一年十一月本校々醫の囑託を受け鋭意學校衛生に力を盡し特に専門とせる眼科に付大に其の手腕を試むべく努力せり受囑當時本校に在りては「トラホーム」患者續出し重患者の如き相當の率を示せる而已ならず往々失明の不幸を見る者あり同氏は熱



心に其の忽にすべからざることを痛論し當局亦其の熱誠に動かされて之れが根本的治療に著手することとなりしも當時の患者数は實に六一パーセントの多數に及べるに依り明治四十一年四月以降十餘ケ年の間荷も風雨寒暑を意とせず毎日出校して専心治療に努めたる結果其の成績著しく顯はれ大正七年末に在りては僅かに一七パーセントの低率を示すに至れり又時に學童の父兄保護者に對しては學校衛生の緊要なることを説き或は同窓會、婦人會其の他の會同を利用して衛生思想の向上を促す等終始獻身的に努力する所あり大正八年二月山口縣知事より其の功勞を表彰せられたる故ありと謂ふべし全年三月願に依り一旦其の職を辭し大正十三年再び本校を醫と爲り爾來今日に至る次で昭和四年五月學校看護婦の設置せらるゝに當り「トラホーム」の治療、風の驅除に對する周到なる應急手當の方法を指示して終始一日の如く熱心職務に勵精し其の成績顯著なるものあり仍て萩町善行者表彰規程に依り之を選奨する所以なり

昭和五年二月十一日

萩町長 林 勇 輔

表 彰 狀

萩町東木間區

山 縣 卯 助

多年産業ノ振興ニ勵ミ身ヲ以テ範ヲ示シ其ノ成績ノ視ルヘキモノアリ仍テ茲ニ銀盃壹個ヲ授與シ之ヲ表彰ス

昭和五年二月十一日

萩町長從五位勳六等 林 勇 輔

事 蹟 概 要

萩町東木間區

山 縣 卯 助

資性温順敦厚にして老母に孝養を盡し常に産業の開發に意を用ひ大正十二年より畜産業に従事し推されて木間畜産組合長と爲り爾來木間全區に涉り畜牛の改良を企圖し現に良好なる成績を贏ち得るに至れり其他果樹園を設けて梨品種の改善に努め或は四反歩の桑園を開拓して養蠶業を奨励し又は竹林を經營して笥の栽培を試み更に竹林地内を利用して養鶏の業に當る等土地の利用厚生に依り農家經濟の建設に

明治六年十二月二十八日生

努力し一般區民に對し模範を示せる結果近時區内の主業及副業を通じ自覺奮起の曙光を認むるに至れる等其の成績顯著なるものあり仍て萩町善行者表彰規程に依り之を選奨する所以なり

昭和五年二月十一日

萩町長 林 勇 輔

表 彰 狀

萩町川島第一區

西 山 權 藏

多年町ノ公職ニ在リ平素克ク勤儉力行ヲ勵ミ範ヲ郷閭ニ垂ル其ノ篤行顯著ナリトス仍テ茲ニ銀盃壹個ヲ授與シ之ヲ表彰ス

昭和五年二月十一日

萩町長從五位勳六等 林 勇 輔

事 蹟 概 要

萩町川島第二區

西 山 權 藏

資性温良恭謙にして勤儉克く産を治め常に郷閭の模範となる明治三十九年選ばれて町會議員と爲り明治

安政三年正月二十四日生

表 彰 狀

萩町東木間區

山 縣 卯 助

多年産業ノ振興ニ勵ミ身ヲ以テ範ヲ示シ其ノ成績ノ視ルヘキモノアリ仍テ茲ニ銀盃壹個ヲ授與シ之ヲ表彰ス

昭和五年二月十一日

萩町長從五位勳六等 林 勇 輔

事 蹟 概 要

萩町東木間區

山 縣 卯 助

資性温順敦厚にして老母に孝養を盡し常に産業の開發に意を用ひ大正十二年より畜産業に従事し推されて木間畜産組合長と爲り爾來木間全區に涉り畜牛の改良を企圖し現に良好なる成績を贏ち得るに至れり其他果樹園を設けて梨品種の改善に努め或は四反歩の桑園を開拓して養蠶業を奨励し又は竹林を經營して笥の栽培を試み更に竹林地内を利用して養鶏の業に當る等土地の利用厚生に依り農家經濟の建設に

明治六年十二月二十八日生

四十三年より大正七年迄九ケ年間推されて川島第一區長の職に任し明治三十九年より十五ケ年間川島親睦會評議員大正九年より九ケ年間同會副會長及大正四年より九ケ年間萩町農會評議員等職に就き其の間終始業務に精勵せり又家庭に在りては朝に星を頂き夕は星を迎へて田畑の耕作に勵み現に齡古稀を過ぐるに拘らず日毎の薪炭は遠く南明寺山より之を採取し或は夜間を利用して農作用の履物を生産する等其の勤儉力行に秀で家政亦豊力なること及一家の和樂琴瑟の風情掬すべきものあるが如きは擧げて郷閭の模範とするに足るべく其の他神佛を崇敬し祖先を重んずるの念篤く加ふるに慈善心に富み其の篤行顯著なりとす仍て萩町善行者表彰規程に依り之を選奨する所以なり

昭和五年二月十一日

萩町長 林 勇 輔

表 彰 狀

萩町越ヶ濱第二區

兼 原 チ ョ

多年病夫ニ仕ヘテ貞淑貧苦ニ處シテ克ク子女ヲ教養



シ刻苦奮闘二十有餘年稀ニ視ルノ節婦ト爲ス仍テ茲ニ銀盃壹個ヲ授與シ之ヲ表彰ス

昭和五年二月十一日  
萩町長從五位勳六等 林 勇 輔  
事蹟概要

萩町越ヶ濱第二區

兼原チヨ

明治二十二年十一月五日生

明治四十一年大工職市五郎の後妻として入嫁せり當時四歳の繼女子あり家計亦豊かならず資産としては他人の宅地内に一小陋屋を有するのみなりしが其の後夫市五郎の病臥するや數年間能く夫に仕へて最も貞淑を致し繼子を愛すること實子も猶ほ及ばず然りと雖夫の病臥後は收入の途全く絶へ糊口に窮するを以て遂に意を決し荷車を挽きて越ヶ濱、萩間に於ける小貨物の運搬業を開始し備かに得たる賃金を以て病夫の藥餌並一家の生計を支ふること、せり大正六年不幸にして夫市五郎病没し家庭には十三歳及八歳の遺兒あり一家の全責任者たるチヨ女は爾來風雨寒暑をも厭はず益々奮闘努力を強行し一日と雖休養す

ることなく専ら子女の教養に盡力せり而も厘毛の餘財を蓄へて住宅地を購入し又繼子に婿養子を迎へ一家團欒今日あるを見るに至る就中如斯貧困生活の中嘗て納税の義務を怠りたることなき等其の節操感すべきものあり仍て萩町善行者表彰規程に依り之を選奨する所以なり

昭和五年二月十一日

萩町長 林 勇 輔

### 納税組合選奨

本縣納税奨励規程に依り二月十一日縣知事より奨励狀を授與せられたる者の内萩町關係の分左の如し

- |  |         |
|--|---------|
| 阿武郡萩町  | 河内區納税組合 |
| 同  | 沖原區納税組合 |
| 同  | 笠屋區納税組合 |
| 同  | 霧口區納税組合 |
| 組合員協同一致シテ克ク納税思想ノ涵養納期ノ確守ニ勗メ其ノ成績見ルヘキモノアリ今後一層戮力シ其 |         |

奨 勵 狀

ノ實績ヲ舉クルニ努ムヘシ

昭和五年二月十一日

山口縣知事正五位勳四等 黒崎 眞也

## 學 事

### 圖書館事務員異動

明倫圖書館事務員 金子清太郎  
願に依り事務員を解く(一月三十一日付萩町)

吉田 幹介

明倫圖書館事務員を命ず(一月三十一日付萩町)

### 町内各學校紀元節拜賀式

二月十一日町内各小學校共午前中に於て紀元節拜賀式を舉行せり

### 萩町内實業補習學校農業水産科教授指導に關する協議會

近時萩町に於ける農業、水産業及養蠶業等當事者の自覺漸く旺ならんとする時機に際し町内各實業補習學校を通して其の改善方法を奨励することは効果尠からざるを認め去る二月十日午後一時より町内に各校専任職員の外萩町及町農會並萩魚市場の各技術員を會同したる協議會を開催し得る所あり今後は各自互に連繫を保ちて時々斯の種の指導方法等に付研究會を催ふし郷土に即したる實施方策を講ずること、せり

### 萩町内男子中等學校 教練查閱

山口歩兵第四十二聯隊付増田中佐を查閱官として二月五日萩中學校二月六日萩商業學校に於ける軍事教練の查閱あり

### 明倫校の寒稽古納式

本校は曩に一週間に亘り高一、二兒童の寒稽古を實施し之が納式として二月五日午後一時より本校講堂



に於て剣道大會を開催せり何れも終始旺盛なる元氣と技術の進歩を示し夫々賞品を授與し午後四時終了せり

### ◎明倫校進學兒童父兄保護者會

二月十三日午後一時より本年四月中等學校に進學を希望せる父兄保護者を會同し進學に付ての諸注意並に學級擔當教員との懇談を遂げ午後三時半閉會せり

### ◎明倫校高二兒童の社會見學

本校に於ては毎年三月卒業する高等科男女兒童に對し實社會の見學を行ひ實地に就き指導を試むることとせり本年も右の趣旨により二月二十七日萩區裁判所及び郵便局を見學せしめ尙今後も引續き各所の見學を科する豫定なり

### ◎明倫校兒童の海軍志願

兵検査並に衆議院議員選舉投票所の見學

一月三十一日二月一日の兩日に亘り本校講堂に於て海軍志願兵検査を施行せらるゝに依り兒童の海軍思想養成上活教材を興ふる爲特に上級兒童をして検査の實況を見學せしめ尙二月二十一日本校講堂に於て施行されたる衆議院議員投票所の狀況をも見學せしめ公民教育上の活資料を得何れも裨益する所ありたり

### ◎明倫校の三教科研究會狀況

本校は二月二十二日讀方國史体操の三教科に付研究會を開催せり來賓として林町長、秋田學務課長、堀學務委員等列席阿武、大津兩郡より參會したる會員約百三十名に及び豫定行事とせる一般授業並に指定授業の參觀を終つて三教科別に指導講師として招聘せる中野萩高女教諭、長井大津中學教諭、池田萩中

二月中に於ける視察者左の如し

防府高等女學校校長本澤清一外一名、京都帝國大學教授野上俊夫、山口師範附屬小學校教員若本正三、本町椿東小學校教員田邊瀧樾外七名、京都市崇仁小學校長伊藤茂光、本郡三見小學校長田中惣一外六名、大津郡深川小學校教員上田早苗外二名、本町椿東小學校長河村要一外九名、本郡奈古小學校長周山熊一外十名、大津郡明倫小學校教員宇野武道外一名、本町白水小學校長倉田晋七外五名、本郡大井小學校長國弘禮輔外三名、本町椿西小學校長堀田斷藏外六名、本町木間小學校教員濱村六郎、本郡明木小學校教員梶山信市外二名、大津郡通小學校長山田八郎、本町越ヶ濱小學校長磯部千尋外三名、本郡紫福小學校教員古屋久門、山口縣師範學校專攻科生徒山縣正一、大阪市大和田小學校長恩地庄太郎、全市鷺洲第三小學校長味村龜五郎、全市鯉江小學校長中田隆造、全市清水小學校長乾廣一

學教諭を中心として夫々別室に於て各部會を開催授業の研究批評を終り直に講堂に於ける三部合同の會場に集合し本校三教科研究部員の研究發表に次ぎ各講師の指導講話あり午後四時過ぎ極めて盛會裡に解散せり

因に當日の指定授業者並に研究發表者左の如し

讀方部 宇佐川、天野、佐伯、大塚各訓導  
國史部 山本、下井、池上各訓導  
体操部 笹井、近藤、椿各訓導  
研究發表者 大谷、山根、富田各訓導

### ◎明倫校新入學兒童の身体検査

本年四月本校尋常科第一學年に入學すべき兒童數約三百六十名に達し二月二十六日より三日間右兒童及其の保護者を招集して身体検査、素質調査に併せ學校家庭間の連絡に付懇談を遂げたり

### ◎明倫校來校視察者



●椿東小學校にピアノ備付

昨年十二月東京市在住森重操氏よりの寄附金に依り今回椿東小學校に山葉製平台ピアノ第一號壹台を購入し備付けを了したり近くピアノ開き實施の筈

●木間小學校學藝會

二月二十七日午前九時より第三十回本校學藝會を開催尋一遊戯と對話大江山、尋三、四理科の實驗と對話、舌切雀高一對話豆撒獨唱等聽衆に多大の面白味を與へ午後五時過ぎ盛會裡に閉會したり

●明倫青年團總會狀況

明倫青年團は年度行事中最も重要なものとして毎年二月本團の總會を開くこととせり、本年は二月二十八日午後七時半より萩町公會堂に於て右總會を開催豫定の順序に依る開會の式に引續き團員の意見發表あり何れも昭和青年たるの意氣を示しそれより講師として招聘せる萩中學香川政一氏は新建設て

明倫女子青年團第九支部に於ては東田町水津家小兒の奇禍に同情し金壹圓四拾錢を醸出其の贈與方を東田町第二區長へ申出てたり

●木間青年團近況

◎二月二日木間小學校に於て木間青年團修養會を開催二月二十二日より二十六日迄萩警察署田中巡查を講師として武道寒稽古會を催し劍道の指南を受く會員職員共一同熱心を以て練習し二月二十七日向原萩警察署長下村巡查臨時の下に進級試合を舉行せり

●木間女子青年團講演會

二月二十一日午後二時より木間小學校に於て木間女子青年團主催となり美禰郡秋吉村本間俊平先生を招聘し講演會を開催、聽衆三百名多大の感動を與へ盛會裡に午後五時過閉會したり

因に本間先生より本間全集日本の偉人等三十八冊を本間圖書館青年團等に寄贈せらる其の厚意を感謝す

う演題の下に我が國現下の財政より説き起し幾多の例話を引きつゝ青年の自覺を促し團員一同をして大いに奮起せしむる所ありたり次いで唱歌娛樂靜坐朗誦等課程の全部を了り午後十二時就床せり翌朝は四時半起床それより隊伍を整へて一同春日神社に詣り時恰も社頭に集合せる女子青年團員小學校兒童一般有志者等約八百名と合同して玉串拜遙拜、体操、講話朗讀、朗誦を行ひ皇室の萬歳を三唱して六時解散せり當日の出席團員は百名餘にして明倫校高二男八十餘名學校幹事三十名の者之に参加し林町長河内郡青年團副團長藤村萩町聯合青年團長外數名の來賓あり一段の光彩を添へたり

因に當日の團員意見發表題目氏名左の如し  
郷土に目覺めよ 第六支部 内田 茂  
努力せよ我等青年 第一支部 藤山 公輔  
社會淨化への第一歩 第十支部 藤井 松雄

●明倫女子青年團第九支部の義捐

●木間青年團講演會に於ける本間俊平先生の講演要旨

木間は懐しい所である。……山田村の三宅光華先生が居られた地であり、現在では吉岡先生が木間小學校に居られて餘程懐しい土地である、一度來たいと思つた處へ吉岡先生からは是非來て呉れよとのこと此の機會を逸しては又と時機がないと思ひ、來客の在るのに拘らず待たして來たのである。

一木一草總て神の恵み。……一木一草に至るまで神の恵みを享けないものはない、木間の人達が炭を焼く木でも、杉材でも總て神より與へられたものであるから感謝し奮闘努力しなければならぬ。木間は高天原の如き所で清い空氣と美しい景色の土地柄の中に生活の出來るのは眞に有難いことである。世の中が文明になれば忙しくなる。自動車、飛行機の如き文明の利器が發達し來り文明とは忙しいことである様に思はれる。

天地の恵みを粗末にするな。……現代には困り博士が多い、大臣まで困る／＼と云つてゐる。それは



暗い淋しい生活をするからである、明るい生活を営まねばならぬ。天地の恵みを粗末にするから損ばかりするのである。家庭に於ても深く考へを及ぼし確かりした心の持主である家は明るいそうして清い家庭が出来るのである。親子兄弟嫁姑の間でも明るい清い心掛でなければならぬ、それには天地の恵みを粗末にせないことである、佐藤定吉博士も私の話によつて鋸屑から煙草入箱、石炭の燃殻から硯箱を造らるゝ様になつた要するに天地の間には不用な物はない。

人間の病氣は氣から……病氣とは氣を病むことである。微毒、淋病などの性病もその病原は微菌ではなくして一步進んで考へると家庭の暗い淋しい境遇からである。心が明るくなれば自然に治まるものだ私の信仰……總てが愛である、愛することである……と先生が秋吉村へ居を構へられた當時の話があつた。……愛することを悟つたこと、大理石山を購入した當時の苦しい時代の話……人參と林檎を出して神秘的な天恵に對し感謝と愛との話などあつた、アブラハム、リンカーンは木を割る眞意を知りたるこ

とを例話として眞劍の力、天地の力、眞心を持つて事を成さねばならぬ、所以を述べられた。  
肺病は禹齒から……虫歯のある人は健康を損ふ、健康にするにはよく咀嚼すること、茶漬けを食はな  
いこと、齒を大切にすること、齒は健康上大切な  
要塞である。食物を鵜呑みにするのは病氣の基である  
文明も鵜呑にするのは危険である。  
不平を言ふ人は毒瓦斯を放つ人である……不平を  
言ふ人は腐つた人であり死人である。毒瓦斯は良く  
擴がる、この毒瓦斯にあたらぬ様にせなければならぬ  
は毎日食ふ食物について不平を言つてはならぬ、吾々  
物は不平を言はないで食ふべきものを不平を言ふの  
は間違つてゐる。  
二つ叱つて三つ褒め五つ訓へて善き人にせよ……  
の諺に就いて話があつた。

◎中ノ倉通學兒童の學藝會

中の倉區主婦會主催區内通學兒童の學藝會を二月二

十三日午後一時より明光寺にて開催場内には學校より開展に係る書方、圖書等兒童の成績品の外教育上種々の參考表を關係區よりは各國國旗、萩町勢要覽を部分別したる擴大表反各國と日本又は各縣と山口縣との産業繪畫比較表及其の前日に於ける萩青物市場並萩魚市場の相場表等を掲げ其の他教壇には生花等の清楚なる裝飾を施し主婦會對學校教育連鎖上遺憾無きを期せり當日の參會者としては河村椿東小學校長外九名の先生を初め坂前區長、福島、大谷兩區長其の他有志者區内の保護者兒童は勿論區外の兒童父兄等多數の參觀者場外にまで溢れ満堂立錫の餘地なく豫定のプログラムの如く河村校長の訓辭に次ぎ藤田受持先生より椿東校兒童の身長胸圍發育程度比較並區内兒童の出席率等グラフに付説明あり又福島區

長は學校と家庭との連絡の必要あることに併せ萩町勢要覽概要を述べ續て主婦會代表として寺戸、坂兩婦人の挨拶あり此の日は朝來主婦會幹事評議員共終始熱心に斡旋せられたる爲豫定兒童學藝會プログラム五十四回を出來榮へよく了り保護者に對し深き印象を與へたることを感謝す就中對唱桃太郎さんは最も感興を惹けるもの、如し終て茶話會を催し午後六時閉會せり(福島中の倉第一區報告)

◎教育的觀覽施設

越ヶ濱大谷天然水族館及廣瀬樂天地に於ける昭和四年四月一日現在教育的觀覽施設左の如し

名稱	所在地	設立別	設立月年	昭和四年豫算	陳列品點數	觀覽人員	開館職員	管理者
合資會社大谷天然水族館	萩町大字椿東越ヶ濱	私立	大正十四年四月	三、四〇〇	魚類三種、貝類八種	前年度延人員 二、四五〇 一般者 七、九〇五 學生 二、九〇五	一日平均日數數 八〇、四	氏名 四大谷榮植
樂天 地全	全	全	大正十五年八月	三、二〇〇	魚類三種、貝類二種	前年度延人員 一、〇〇〇 一般者 六、〇〇〇 學生 七、〇〇〇	一日平均日數數 二〇、〇〇	氏名 三廣瀬 清



●優良青年訓練所表彰

文部大臣は二月十一日紀元の佳節に當り全國青年訓練所中其の成績優良なるものを舉げ表彰せり山口縣關係の分左の如し

- 美禰郡眞長田村立眞長田青年訓練所
- 豊浦郡内日村立内日青年訓練所
- 大津郡菱海村立青年訓練所

◎文部省山口縣及萩町共同主催成人講座開講狀況

- 一、會期 昭和五年自一月十日至二月十四日間每週月、水、金曜日午後七時より十時迄開講
- 二、會場 萩商業學校
- 三、講師及科目

- 公民科 國體觀念の涵養に關する事項 萩中學校教諭 河野 通毅
- 經濟生活の改善に關する事項

萩商業學校教諭 竹内 八郎

自治團體の向上に關する事項 萩町長 林 勇輔

實業科 産業及職業に關する事項

萩商業學校教諭 清水 一良

科學知識の普及に關する事項

萩中學校教諭 村岡 徹介

四、申込會員數 一百七十七名

五、出席の狀況

修了證書授與者數 八二  
 出席者數 六一  
 出席者數 一五  
 出席者數 一六  
 出席者數 二五  
 出席者數 三三  
 出席者數 一七  
 出席者數 一七  
 計 一八

六、會員年齡別

二十二三歳 三十三  
 二十三二十四歳 四十四  
 二十四二十五歳 五十五  
 二十五二十六歳 六十六  
 計 一七

七、會員職業別

清熊 幸坂勇 △安藤孫一 荒瀬久行 阿武義輔  
 阿武吉五郎 秋田武太郎 佐方貞壽 木原壽 木  
 村好男 △三浦傾助 三隅田秀一 溝部勝利 三  
 好三四郎 柴田國夫 白井宣之 森永正忠 長嶺  
 誠一

●萩商業學校入學生徒に就て

萩商業學校に於ける本年度の入學考査は三月廿二、三兩日之を執行し其の結果の發表は三月二十四日午後五時の豫定なり入學を許可せられたる生徒の保證人は誓書並に戸籍謄本を學校長に差出すことを要す右保證人は生徒の父母又は後見人を指すものなれども學校所在地を距ること一里以上の者なるときは一里以内に居住する代理保證人と定め連書を以て差出す定めである尙ほ入學當時の經費概算は左の如し

品目	金額
校友會入會金	一、〇〇
制服(夏服)一着	四、〇〇
帽子	二、五〇

農、林、工業、商業、會社、官公吏、學校、新聞、無職、計  
 水産業 四 二六 三五 一〇 二六 三〇 五 二 一七七

八、修了證書授與者氏名(イロハ順、氏名の上△印は全會期中皆勤者)

- 岩崎喜一 △猪亦音熊 板垣九二資 石井久一
- △磯村米一 伊勢島六郎 原芳太郎 △西山種雄
- 堀永幸男 堀市熊 大田勇 △大井信一 岡崎忠
- 一 △大谷槌太 岡田幸槌 大田竹一 小田政雄
- 小野正輔 小澤義孝 渡邊治 河内山欽一 △河
- 上義雄 金子秀夫 鴨川一物 河野春一 金子半
- 一 金子宗七 勝山平八郎 兼田三衛 金子勇
- 吉屋晋 横山彌一 田村孝輔 田中春一 長山義
- 雄 △中村俊雄 中村吉郎 中村敏勝 中村三藏
- 村木勘三郎 村田巖 村上竹雄 内田正雄 内田
- 茂 宇都宮正雄 △能美正一 倉田晋七 久保田
- 五六 山村治良 △山崎宣三 山縣久義 山根多
- 喜男 山本莊吉 △山本太郎 山本高義 山本清
- 助 △増山時政 牧澤誠 増原繁 △松尾久雄
- 松浦利亮 藤山初彌 △藤原茂 藤田勝一 藤田



靴 六、八〇  
 上 一、二〇  
 体操服(帽子靴共) 三、五〇  
 柔道又は剣道々具 九、〇〇  
 教科書及學用品 一五、〇〇  
 合計 四四、〇〇  
 冬服(十月調製) 五、五〇

◎注意 學用品、制服、帽子、靴、体操服、柔剣道  
 々具等は指定商人又は學校購買部にて本校制定の  
 ものを調製販賣せしむるに付本校より指示するま  
 で各自勝手に之を購入せざることを

毎月學費概算 四、〇〇  
 授業料 五〇  
 修學旅行積立金(一ヶ月の割前) 五〇  
 校友會費(全上) 五〇  
 學用品 一、五〇  
 雜費 一、五〇  
 合計 八、〇〇  
 入學生徒にして下宿する者は成るべく寄宿舎に入舎

を希望す寄宿舎は學校構内に在りて食費舎費電燈料  
 共約金拾參圓にて足る

◎山口縣立萩中學校第三十  
 回卒業生

三月三日午前十時卒業證書授與式舉行卒業生氏名等  
 左の如し  
 氏名(いろは順) 原 籍 志 望  
 伊藤 芳治 阿武郡萩町 高等農林學校  
 岩田 精耕 福岡縣筑紫郡 實業  
 今地 忠雄 阿武郡川上村 高等學校  
 今井 知之 萩町 高等工藝學校  
 石田 勇 福川村 高等農林學校  
 石橋 俊男 小川村 高等商業學校  
 波多野 毅然 大津郡日置村 龍谷大學豫科  
 花村 英一 阿武郡萩町 高等商業學校  
 堀利 久 同 高等學校  
 豐田 正之 同 三見村 高等商業學校  
 時澤 忠 美禰郡秋吉村 高等學校

李家 正彦 阿武郡萩町 師範學校二部  
 大藤 義人 同 宇田郷村 高等學校  
 大野 元明 美禰郡大田町 高等學校  
 大庭 清宣 同 共和村 高等農林學校  
 大島 次郎 阿武郡萩町 高等商業學校  
 大塚 均 同 須佐町 美術學校  
 岡 勇 同 萩町 高等商業學校  
 岡本 正 同 同 高等工業學校  
 岡田 廣 同 同 鑛山專門學校  
 小川 善勝 豐浦郡長府町 高等商業學校  
 落合 正雄 阿武郡萩町 高等工藝學校  
 渡邊 知正 美禰郡秋吉村 高等學校  
 渡邊 儀正 阿武郡萩町 高等商業學校  
 兼本 正二 同 同 海軍兵學校  
 河野 富男 同 大井村 滿洲教育專門  
 金子 範尾 同 福川村 神宮皇學館  
 金子 伸義 同 萩町 高等商船學校  
 桂 明 豐浦郡阿川村 滿洲教育專門  
 桂木 素夫 阿武郡小川村 京城帝大豫科  
 片山 俱若 同 萩町 高等農林學校

龜屋 武治 同 高等農林學校  
 吉田 誠 同 藥學專門學校  
 吉賀 幸一 同 實業  
 吉村 長藏 同 同 高等學校  
 芳野 滋 同 美禰郡大田町 同  
 田中 了範 美禰郡大田町 同  
 田中 國盛 阿武郡福賀村 高等商船學校  
 田中 三郎 美禰郡赤郷村 鐵道學校  
 田中 武 阿武郡萩町 高等商業學校  
 田中 哲男 吉敷郡山口市 滿洲教育專門  
 田原 義雄 阿武郡萩町 高等學校  
 田原 正旗 大津郡日置村 南滿洲工業專  
 田坂 致和 阿武郡萩町 醫學專門學校  
 高松 博 同 紫福村 高等工業學校  
 高垣 正秋 同 同 高等學校  
 武本 光雄 熊本縣熊本市 高等工業學校  
 津森 正夫 阿武郡萩町 同  
 津田 護男 同 須佐町 高等學校  
 都野 繁雄 同 萩町 農科大學實科  
 繼 哲夫 大津郡仙崎町 藥學專門學校



中村 正一	阿武郡萩町	商科大學專門部	箭島 保	同	吉部村	師範學校二部
中村 不二夫	同 高俣村	東亞同文書院	松井 茂	同 萩町	同 萩町	体操學校
中原 恰三	吉敷郡山口市	高等學校	藤田 正直	同	同	高等學校
永田 正二	阿武郡萩町	高等工業學校	藤田 榮作	同	同	陸軍士官學校
南家 廣見	玖珂郡玖珂町	實業	藤野 晃	同	同	實業
村岡慶太郎	大津郡三隅村	高等工業學校	福田 壽男	同	佐波郡西浦村	南滿洲工業專門學校
室谷 熊亮	阿武郡田万崎村	藥學專門學校	小池 茂夫	同 阿武郡萩町	阿武郡萩町	高等工業學校
宇野 富夫	同 萩町	高等工業學校	小林 保長	同 奈古村	同 奈古村	高等商業學校
上田 友一	同 明木村	實業	神田 雅人	同 三見村	同 三見村	同
野村 琢磨	佐波郡右田村	高等蠶絲學校	鴻嶺 利光	同 大津郡深川町	大津郡深川町	高等學校
野間百合藏	阿武郡萩町	高等農林學校	赤間 傳	同	同	旅順工科大学
久保田保久	同	同	阿武 忠之	同 阿武郡川上村	阿武郡川上村	豫科
倉増 賢二	美禰郡大田町	高等工業學校	齋藤 岩夫	同 吉部村	同 吉部村	同
八木 哲夫	阿武郡萩町	商科大學專門部	齋藤 曠	同 奈古村	同 奈古村	醫學專門學校
山崎 三資	大津郡三隅村	師範學校二部	榊 敏彦	同 豐浦郡彦島町	豐浦郡彦島町	高等商業學校
山崎 正二	同 日置村	實業	來島 秀男	同 阿武郡萩町	阿武郡萩町	高等師範學校
山一 市生	同 三隅村	南滿洲工業專門學校	光井 泰城	同	同	高等學校
山田 博	阿武郡萩町	高等工業學校	宮本 哲治	同 見島村	同 見島村	遞信官吏練習所
山村 源治	同	商船學校	溝部 正次	同 萩町	同 萩町	高等商業學校
安江美保介	同 田万崎村	高等商業學校	溝部 虎槌	同	同	同

三好桂太郎	同 奈古村	高等工業學校	同	岩本 豊	同	同
三隅田浩治	同 萩町	藥學專門學校	同	和泉屋一信	山口高商無試驗入學	同
白井 光人	美禰郡大田町	醫科大學豫科	大津郡	和泉 安一	自 營	同
白井 素巳	阿武郡福川村	高等工業學校	島根縣	橋本 康三	自 決	同
平田 正輔	同 萩町	高等學校	萩	橋本 一生	株式會社	宗像商會
彦田 徳市	同 須佐町	實業	同	原田 誠一	株式會社	百十銀行
持山侃二郎	大津郡仙崎町	高等學校	同	濱本 常一	未 定	同
瀨川 治	阿武郡萩町	同	阿武郡	西村 秀雄	自 營	同
末武 禎次	同	高等工業學校	萩	堀 恭介	日本水産株式會社	同
末成 英	同	高等商業學校	同	土井 文男	中山太陽堂	同
末岡 英介	同	水産講習所	同	豐田 稔	山口高商	同
			同	刀禰 義雄	中山太陽堂	同
			同	時山 哲男	株式會社	九十商會
			同	阿武郡	株式會社	明治商店
			同	阿武郡	未 定	同
			同	大津郡	自 決	同
			同	阿武郡	森商店	同
			同	阿武郡	株式會社	明治商店
			同	同	自 決	同
			同	同	株式會社	九十商會

◎萩商第十回卒業生一覽

三月八日午前十時より卒業證書授與式舉行卒業生氏名等左の如し

本籍	氏名(いろは順)	就 職	先
萩	伊藤 博	田中智平商店	
熊毛郡	伊藤 時隆	未 定	
萩	伊勢島 尙	自 決	



同	渡邊 明	株式會社	三十四銀行
同	景由 見萩	小野田セメント製造株	
同	金子傳三郎	株式會社	宗像商會
同	金子源次郎	株式會社	中島商店
同	河田 茂	株式會社	明治商店
同	神田 一朗	株式會社	東邦印刷所
同	吉岡 正一	未定	
同	吉井 與一	東京商大教員養成所	
同	吉賀 民雄	株式會社	中島商店
同	吉山 判衛	小野田セメント製造株	
同	横木宗四郎	自營	
同	萬屋 三郎	菊谷茂吉商店	
和歌山	田中榮一郎	自營	
萩	田島 正彌	藤崎商店	
同	竹内 基祐	未定	
同	竹内右左夫	豐國屋商店	
同	高洲 孝次	自營	
阿武郡	高屋 磐夫	未定	
萩	高橋 正治	自營	
同	槌田 清春	未定	

同	中村 松一	進學	
同	永留 正	株式會社	三十四銀行
島根縣	村上 伸夫	自營	
山口市	山田 四郎	同	
同	山田 清	未定	
同	八道 清利	同	
阿武郡	松浦 博一	中山太陽堂	
萩	藤岡 高登	製鐵所	
同	藤原 一	株式會社	林兼商店
同	藤田 末一	滿鐵	
同	藤村 又雄	株式會社	宗像商會
同	有田 武	鐵道局	
同	齋藤 貞雄	未定	
同	佐伯 武朝	小野田セメント製造株	
同	佐々木 斌	未定	
大津郡	坂倉 達雄	中山太陽堂	
萩	貞本 俊光	株式會社	明治商店
同	三步 正植	未定	
同	溝部 正治	山口高商無試驗入學	
同	三好三四郎	山口高商	

産業

阿武郡	三浦 信一	自營	
萩	三村 好助	未定	
同	新庄 進	同	
同	本永 鐵夫	日本勸業銀行支店	
阿武郡	世良 正壽	伊田商店	

萩町立工業傳習所移轉

萩町立工業傳習所は二月十五日より左記の場所に移轉せり

萩町大字江向百八十四番地の二、元活動常設館建物内

萩町立工業傳習所及新川分場の業務狀況

二月二日 大連輸入組合注文品座敷用色付紙屑籠五十個を發送す

二月十三日 大連輸入組合より花籠其の他容器の注文を受く

二月二日 佐波郡西浦村濱田竹細工製造販賣業吉田巖氏來所

二月二日 商工省勤務伊藤潔氏來所

萩編網所の近況

日本漁網船具株式會社萩編網所に於ける二月分の工賃支拂高金は貳千八百圓にして之に従業せる人員六百五十人なり

滿州輸入組合へ加入者

大石橋輸入組合は本年二月一日より滿州輸入組合聯



合會へ加入を承認の旨同聯合會より通知ありたり

◎京都御所拜觀に就て

第一回及大正十四年に於ける國勢調査員並昭和四年に於ける農業調査員の京都御所拜觀の儀は先般來差止中の處二月一日より従前の通拜觀被差許旨其の筋より通知ありたり

第七輝丸 一三六七 小池要助  
第八輝丸 一三六七 全人

◎二月中萩港輸出入貨物

萩税關支署

◎船舶登録

熊本遞信局海事部に於て昭和四年十一月中船舶原簿に登録せしもの、中萩町關係の分左の如し

船名	總噸數	所有者氏名
第一天祐丸	一四一	田中太郎吉
第二天祐丸	一四一	全人
第三幸丸	二四三	橋本勘一

品名	噸量	價	仕向地
杉丸太	四二六	八、一七〇	關東洲
竹製品	二一	二〇四	
合計	四四七	八、三七四	

品名	噸數	價	仕出地
玉蜀黍	四	一四〇	關東洲
混合飼料	一七	八八二	同
合計	二一	一、〇二二	同

◎昭和四年十二月中關係各開港別輸出入額調

港別	輸出額	輸入額	合計
横濱	五、八四七、七一	四、二八三、七四八	九、一三〇、四九六
神戸	五、六八三、二五四	六〇、三〇〇、三九七	一五、九八三、五九四
大阪	三〇、五八、六五	二二、五〇四、九七二	五三、〇九三、五九七
名古屋	四、五〇四、四八一	六、九四、三六三	一一、四二八、四四〇
門司	三、四七、一三四	六、四〇六、七三三	九、八八三、九〇七
長崎	三二、八七七	一、八八二、九二四	二、二〇四、八〇一
函館	五四五、五三四	四六六、九八五	一、〇二二、五二九
小樽	二、四三、九〇九	二六、三九二	二、六〇〇、三〇一
徳山	〇	三、一五六、九九五	三、一五六、九九五
敦賀	一六〇、三七四	一五一、二七二	三二一、六四六
尾道	三、六四四	一、〇五三、〇一〇	一、〇五六、六五四
伏木	三六、八〇五	七二〇、六〇〇	七四九、四〇五
下關	一七、六六六	二八、二四〇	二〇五、八六六
宮津	〇	一〇七、八七四	一〇七、八七四
萩	二、一七六	五六、二八二	五八、四五八
合計	四、一七四	八二〇	四、二五五

◎萩町立萩魚市場賣買取扱高

(昭和五年二月分)

區分	本月分賣買取扱高	年度累計
萩魚市場	四九、〇二三	六〇一、八八六
越ヶ濱出張所	一一、五六四	一六六、三九七
玉江出張所	二、四五〇	六四、九四三
計	六三、〇三七	八三三、二二六

◎二月中の氣象

氣温平均	最高氣温	最低氣温	雨雪量
八度一三	一〇、八二	二度九九	一二三耗八

◎二月中の風向觀測

北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	靜穩	最多方向
五	一	一	四	一	一	一	一	一	五
北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	靜穩	最多方向
西	北	西	北	西	北	西	北	西	西

◎二月中天氣類別日數

種別	日數
快晴	四
晴曇	五
曇	一九
雪	二
霰	一
霰霜	一
濃霧	一
雷	一
地震	一
風暴	一
最高度	一
最低度	一
以下	三



### ● 商業登記

#### ◎ 合資會社設立

- 一、商號 合資會社富川製材所
  - 一、本店 萩町大字今古萩町第四十五番地
  - 一、目的 製材木材販賣製箱其の他之に附隨する行為
  - 一、設立年月日 昭和四年十二月十七日
  - 一、存立の時期 會社設立の日より二十箇年
- 右昭和四年十二月廿四日登記

### 軍 事

#### ◎ 陸軍記念日である二十五年

##### 前の三月十日を追懐して

三月十日は陸軍記念日であるが正に二十五年前のこの日我滿州軍中川村大將の率ゐる最右翼鴨綠江軍は拂曉奉天東方約十里の撫順に進入し黒木大將の率ゐる右翼第一軍は朝來當面の敵を撃攘し逐次北方に進

出して午後四時頃には奉天東北方約五里にある蒲河南方高地に現出し折りしも奉天―鐵嶺道を退却中であつた露軍の部隊を砲撃して之を潰亂に歸せしめ野津大將の率ゐる中央第四軍は敵の頑強なる抵抗を排除し午後三時以來奉天東北方約二里半の魚鱗堡附近に進出し、ひきつづき奉天―鐵嶺道に溢出して恰かも其の際、我第三及第二軍から壓迫せられ同地附近を退却中であつた露軍の後尾部隊を潰亂に陥らしめその一部を捕獲した奥大將の率ゐる左翼第二軍はこの日朝來當面の敵が逐次その最左翼より陣地を撤去するを追尾して日没近くに奉天西北地區に進出し更に一部を以て奉天城内に進入し、また乃木大將の率ゐる最左翼第三軍は敵の右翼を巧みに迂回し奉天北側地區の敵の大動脈とも稱すべき東清鐵道即ち現在の南滿鐵道線及奉天 鐵嶺の西側僅か千米突内外にある觀音屯及その北方の小辛屯等の線に進出し將に敵の死命を制せんとして其の頑強なる抵抗に會し惡戰に惡戰、苦闘に苦闘を重ねた後夜に至つて、こゝれまた奉天東北方及北方地區に進出した第一、第四第二軍と手を握り、遂に完全に包圍の囊の口を締め

切つたので敵は窮鼠猫をはむの勢を振ひ各處に狂亂的突撃を試みたけれ共その都度我に撃退されわが軍は完全に奉天を占領したのである

材料等多數を鹵獲した

露軍總司令官「クロバトキン」大將は三月六日我第二軍正面に向つて行つた露軍第二軍の攻撃移轉が不成功に終ると共に日本第三軍の一部が既に奉天北方に現出したと云ふ報告に接し後方特に鐵道の危險を感じ初め六日夕に至り約五箇師團の兵力を奉天北方に集め九日、わが第三軍の翼側に向ひ一大攻勢を企てたのであるが而もその攻撃行動が意の如くならなかつたので茲に全般の情況上、速に現戰線を離脱して鐵嶺方面に退却し再舉を策することに決し夜に入つて退却行動に就かしめた

この日我國内に於ては正午頃から「我軍戰況有利に進展、敵退却の徵あり」敵總退却、我が全線追撃開始「奉天占領敵軍全滅」などの號外が刻々に配布せられ、號外賣りの後を追ふ少年少女、號外を圍む老若男女こゝかしこに起る万歳の聲、國旗を掲ぐる者祝杯を舉ぐる者、氣の早い者は提灯行列、旗行列を準備し、氣の利いた者は氏神詣で、出征將卒の家庭訪問等五千万の同胞均しく喜色滿面万歳の聲は山家村里に迄響き渡つたのである

實に奉天の會戰こそ彼我兩軍の主力と主力との事實上の決戰であり彼は之が爲に全く東亞の天地より閉息し我は之が爲に世界の舞臺に躍如として飛び出し得るに至つたのである。世界の日本は正に此の三月十日を以て呱呱の聲を舉げたと云ふとも決して過言ではない

この會戰に於ける參加兵力は露軍は約三十七万我軍は二十五万彼の死傷約六万我死傷約七万を算しわれは俘虜約二万二千の外、砲四十八門及その他の兵器

#### ◎ 在郷陸海軍將校同 相當官轉役



本年三月三十一日豫備役満期後備役に編入の者

陸軍歩兵大佐	藤村正七
全 歩兵中佐	竹田心一
全 歩兵少尉	長谷川利彦
全	能美久雄
全	國司主税
全	阿武義太郎
全	弘中韓治
全 砲兵中佐	板垣義正
全 砲兵大尉	堺吉輔
全 一等軍醫	村田清熊
本年五月五日後備役満期退役者	
海軍中尉	橋本金槌
本年十月十二日全	
海軍中尉	溝部忠藏

◎在學徵集延期

徵兵適齡者にして中學校又は中學校の學科程度と同等以上と認むる學校に在學する者に對しては、本人

の願に依り學校の修業年限に應じ年齢二十七箇年に至る迅徵兵検査を受くることなく其の徵集を延期せらる

右徵集の延期を願はんとする者は本籍地の聯隊區徵兵官に宛てたる願書に學校長の在學證明書を添へ本年四月十五日迄に到着する如く本籍地の町村長に差出すへし但し四月十五日迄に在學證明書を差出し難き者は願書に其の旨を附記して差出し置き在學證明書は之を五月十五日迄に差出すことを得

◎徵兵検査

本年阿武郡の徵兵検査は四月二十七日より五月七日迄の間萩町公會堂に於て施行せらる、豫定なり萩町の日割は確定次第通報すべし

◎吳海軍工廠見習職工

採用案内

吳海軍工廠は軍艦、驅逐艦、潛水艦及各種の兵器等を製造したり又修理する所で最新式の機械を据付け

二万餘の従業員が朝から晩まで活躍を續けて居る等實に東洋第一の大工廠であつて次の各部に分れて夫々専門の仕事を營みつゝある

總務部、砲煩部、水雷部、電氣部、造船部、造機部、製鋼部、潛水艦部、砲煩實驗部、魚雷實驗部、電氣實驗部、會計部、醫務部、職工教習所、技手養成所

見習職工

現今世界の工業は科學を極度に利用して工作法の改良優良品の製作を競ふて居る有様である我海軍では特に茲に着眼して以前より見習職工を採用し學術技能の教育を施し世界列國の海軍に劣らない優秀なる職工を養成して今日に及びしが先年軍備制限條約に依つて海軍の勢力が制限せらるゝことになつたから一層之が内容の充實を圖る爲益々見習職工の教育を完備して工廠の能率増進を圖ることゝなつた夫れ故優秀なる見習職工の將來に對しては期待する所大なるものあり現に毎年四月に募集採用を爲し之が教養に全力を注ぐと共に漸次其の待遇法を改めて居る有様である従つて其の位置も極めて安定で且つ進路も

充分に開けて居る將來工廠の従業員たらんとする人の爲左に見習職工の教育待遇、志願手續等に就て略述す

イ 見習職工の教育及待遇

見習職工は人物學術試験成績及職別等に依り左記の條件にて採用し其の後毎年五月と十一月の二回が昇給期となつて居る  
年齢 滿十四年以上滿十六年未滿 五十錢  
同 滿十六年以上 五十五錢  
見習職工に對して入廠後三ヶ年又は四ヶ年間各優秀なる教師を配置し工場に於て實業を爲さしめ同時に教習所に於ては左記の通學術を授けて居る

本科三ヶ年 入廠と同時に編入する者  
專修科一ヶ年 本科卒業後引續き優秀なる者に對し銓衝の上採用す

見習職工は右三ヶ年(本科)又は四ヶ年(專修科)成業の際其の成績に依り三ヶ年成業の者は一圓十錢内外四ヶ年成業の者は一圓廿錢内外を支給せらる成業後三ヶ年の誓約期間を終







一、砂鑛區稅附加稅

砂鑛區稅金壹圓に付金拾錢

一、取引所營業稅附加稅

取引所營業稅金壹圓に付金拾錢

一、都市計畫特別稅

一、地租割

地租稅金壹圓に付金壹錢

二、特別地稅

地價金壹圓に付金四毛五糸

三、營業收益稅割

營業收益稅金壹圓に付金壹錢七厘九毛六糸

◎下五間町納稅組合設立

二月十六日午後一時より下五間町區常念寺に於て全區主婦會の發會式を舉行、席上東田町水津眞二郎三女末子の負傷を慰藉する爲同情金募集方を申合せ役員に於て之を取纏むることを協議せり尙ほ此の際下五間町納稅組合を設立し三月以降組合員各戸の年間に於ける納稅額を豫定し之を平均一ヶ月の納稅額

に換算したる金額を月一回又は三回に組合員順番に集金し月末に於て組合長之を取纏め完納を期することを申合せたり

◎前小畑區集會概況

二月十五日午後一時より同區公會堂に於て前小畑區昭和五年初集會を開催、年中行事の申合せ及評議員の改選を行ひ終つて岡田町書記より滯納矯弊に關し懇談する所あり本件に付ては後日更に評議員に於て慎重研究を遂げ納稅組合の設立に努力することとし午後七時散會せり

◎納稅組合設置

一、小畑浦納稅貯金組合  
小畑浦第一區長及第二區長は納稅組合設置の爲客月四日小畑浦觀音堂に兩區長及區長代理者、小畑浦第一區、第二區の組長全部十八名の外小畑浦漁業組合代表者の集會を催ふし協議の結果納稅貯金

ふる者及下宿、合宿、間借等を爲し居る者を總稱する義なり

◎自轉車鑑札を無効と爲したるもの

二月中に於て盜難又は紛失の届出に依り新鑑札を交付し無効の處分を爲したる自轉車舊鑑札番號及所有者住所氏名左の如し

鑑札番號	事由	住所	氏名
八七〇只	盜難	橋本町區	中村秀一
八七〇只	紛失	唐樋町區	松浦光藏
八六九只	全	橋本町區	重枝勝
八六五元	全	川島第二區	久保好松
八六六元	全	椎原區	舟木市熊
一四六	全	土原第三區	石田民作
二〇五	全	西田町區	岩本八十二
二二六	全	川島第二區	岡崎喜市
		椿町區	中谷福松

◎特別稅戶數割申告に就て

組合規約を定め各組長に於て組内納稅者を説得勸誘に努むることとし一面本規約に基き別に定むる納稅豫定額に依る日掛貯金を勵行し其の都度組長を経て區長役場に送致することとせり  
右に依り小畑浦第一區及第二區内に居住する納稅者の全部を組合員とし戸數百八十一戸より成る納稅組合を設置昭和五年三月一日より實施することとなり爾後各組合員の貯金を以て國、縣、町稅共納期限内に指定の場所に之を納濟する筈なり

昭和五年度特別稅戶數割の課稅標準となるべき所得額の申告期限は來る四月二十日なるに付四月上旬全申告書を區長役場を経て各納稅義務者へ配布の際は直に其の所要欄に必要事項を記入し區長役場又は萩町役場へ提出せられ度尙老幼不具廢疾者に係る申告無き者に對しては之を控除せざる規定なるに依り自ら不利益を招ること無き様留意ありたし茲に謂ふ特別稅戶數割の納稅義務者とは本町内に於て一戸を構



### 通信

#### ●萩局電話區域擴張

◎二月八日逓信省告示第三百四十七號を以て市外通話區域及普通通話料中左の通追加し二月十六日より施行する旨公布せらる

東岐波(吉敷郡)萩間

一通話時の普通通話料金二十五錢

◎二月二十二日逓信省告示第四百八十九號を以て市外通話區域及普通通話料中左の通追加し三月一日より施行する旨公布せらる

二條(島根縣美濃郡)萩間

一通話時の普通通話料金二十錢

#### ●萩郵便局二月中の行事

一、逓信講習所入所試験執行

来る四月上旬廣島逓信講習所並に下關支所へ入所志願者三十六名に對し廣島逓信局より下渡書記來萩二月五日、六日の兩日萩町公會堂に於て入所試験を執行せり

一、選舉關係郵便事務取扱狀況視察

今回行はれた總選舉に際し當局に於ける選舉郵便物取扱の狀況を調査、視察の爲二月十二日及十七日の兩日廣島逓信局より山崎書記來局。又二月十三日逓信省郵務局より田中英男書記來局全樣調査視察の上歸任せらる

一、精神修養講話會開催

二月二十四日午前十時半より河野萩中學校教諭の「人としての生活」と題する講話を又二月二十七日午前十時より中所囑託講師の「聖徳太子の十七ヶ條憲法」に付ての講話あり多數聴講せり

#### ●萩郵便局昭和五年二月分事務取扱狀況

▲印は減

種別	前年取扱數	本年取扱數	増減數
通常郵便物	引受 二七、七五二	五四、八五四	二五、一〇二
	配達 二二、二二五	四九、四一六	二六、一〇一
小包郵便物	引受 二、二七〇	一、九七三	▲一、二九七
	配達 三、三四七	三、二九七	▲五〇
電報	發信 二、八三三	二、九三七	▲一〇四
	著信 五、二〇八	四、一七一	▲一、〇三六
	中繼 二、五四六	二、二二七	▲三一九
爲替振出	金額 三、三八八	一、三三五	▲二、〇五三
	口數 一、三三八	一、三三五	▲三
爲替拂渡	金額 三、三八八	六、七六〇	▲二、八七二
	口數 二、三三二	二、二二四	▲一〇八
貯金預入	金額 五〇、四三〇	八、一八三	▲四一、二四七
	口數 二、一五二	二、九三三	▲七八一
貯金拂戻	金額 二七、一五二	二、九三三	▲二四、二一九
	口數 六六〇	六七九	▲一九
保険契約申込	金額 一九、三三二	一六、四四五	▲二、八八七
	口數 一六〇	四二	▲一一八
保険料徴收	金額 一〇三、一〇〇	三九、一〇〇	▲六四、〇〇〇
	口數 九、三四一	二、〇七六	▲六、二六五

項目	金額	口數
年金契約申込	一、三七、一六〇	一
年金掛金徴収	三、四一〇	一

### 土木交通

#### ●後小畑區町有埋立地貸付

後小畑區町有埋立地の一部百八十坪の土地は萩開港に基き海運事業を奨励する爲貨物の短期假置場として當分の間無料を以て關係營業者に貸付くること、せり之を使用せむとする者は左の事項を具し町長に願出でらるべし

- 一、貨物の種類及數量
- 一、使用地の坪數
- 一、貨物の假置を爲す期間

#### ●大廣津町有地貸付

大廣津(萩税關支署東隣り)町有地五十餘坪の土地



は秋開港に基き海運事業を奨励する爲貨物の短期假置場として當分の間無料を以て關係當業者に貸付くこととせり之を使用せむとする者は豫め左の事項を具し秋税關支署長の承認を経秋町長に其の旨を届出でられたし

- 一、貨物の種類及數量
- 一、使用地の坪數
- 一、貨物の假置を爲す期間

●交通運輸狀況

昭和四年中に於ける秋驛及玉江驛（東秋驛の分は前號に掲載）に於ける交通運輸狀況左の如し

驛名	◎旅客		◎貨物發送	
	上り	下り	上り	下り
秋驛	五〇、七九人	七、八七人	八、六四	五、七〇
玉江驛	三三、三七	九、九〇	一一、三二	一〇、八三
計	七三、九四九	一〇〇、七七	一九、九四六	一六〇、五三

品目	秋驛		玉江驛	
	噸數	噸數	噸數	噸數
米	三一九	—	—	—
柑橘果物類	五、〇四八	—	—	—
木炭	一九九	—	—	—
木炭	六二五	—	—	—
薪	三一	—	—	—
牛糞	一一一	—	—	—
砂	—	—	—	—
竹	—	—	—	—
計	六、三三三	—	—	—
米	—	—	—	—
生野菜	—	—	—	—
柑橘	—	—	—	—
石炭	—	—	—	—
砂	—	—	—	—
薪	—	—	—	—
瓦	—	—	—	—

社會事象

品名	數量
清酒	四四
麥酒	七四
味噌醬油類	六九
肥料類	三九
飼料類	九二
石灰	二四〇
和洋紙	七九
菓子類	三七
疊表類	二八
機械類	六一
藥品類	二〇
麥類	二六
計	一、七四〇

●無田ヶ原區公會堂竣工

本町無田ヶ原區内は戸數八十餘戸を有し一般の會同に充つべき建設物無く年來不便を感じ來りしが昨年

一月戸主會を隣區明安寺に於て開催の際一同奮起して區内に在る町有地を借受け公會堂建設の事を議決し直に實行役員を選定せり爾來協議研究十數回を重ね設計を町山崎技手に依頼し漸く昨年十二月七日區民總掛りにて地搗の作業を行ふに至り當日は舉區一致出勤者百餘名婦人連の炊出等に依り終日和樂の裡に全部の工程を了り其後工事著々として進捗し本年二月三日落成式を舉行せり此の日は區内総休日と爲し午前八時諸準備を整へ午後三時の開會を待つ折柄來賓として林町長、金子助役、山崎技手及松井駐在巡查等參會田中戸主會副會長始式の挨拶を爲し神官に依り積式を行ひ一同玉串拜の後國歌合唱東方遙拜、永安戸主會長の國民精神作興に關する詔書奉讀工事報告、町長の祝辭等豫定の順次に進行したり引續き區内有志より寄贈の撒餅あり後祝宴に移る區内の家族相集ひ堂内溢るゝが如く又婦人連の特別なる饗應の仕向と懇切なる斡旋に依り一同和氣霽々として此の會堂を將來一般の修養道場とし地方産業振興の策源本部とせんことを語ひつゝ午後九時万歳裡に散會せり



因に公會堂は總建坪面二十五坪にして本館の外來賓室、控室等の設備あり建築費約一千五百圓は全部區民の寄附に成り別に區内各一名宛の奉仕作業二日間及青年團の作業一日間、役員の作業三日間を費したるものなり

● 公人及私人

今村侍從武官一行海軍志願兵検査狀況視察の爲來萩中の處二月一日萩驛出發

平佐本縣土木技師國弘縣屬は工場港灣資源調査主任協議會に出席の爲二月四日來萩

山口歩兵第四十二聯隊付増田陸軍中佐は學校教練查閱の爲二月五日來萩

岩根本縣史蹟名勝天然記念物考查員は木戸侯舊宅調査の爲二月七日來萩

野上京都帝國大學教授は史蹟調査の爲來萩

井上本縣農林技師は越ヶ濱明神池附近家屋建築の件に付二月十五日來萩

三浦農林省水産局技手は松本本縣農林技手と共に機械付漁船數等調査の爲二月十七日來萩

川上日本大學教授、岩井元福井縣内務部長は衆議院議員立候補者中山太一氏應援の爲二月十七日來萩

河野陸軍少將、桑山前遞信次官、中川男爵は衆議院議員候補者久原房之助氏應援の爲二月十八日來萩

中田本縣地方事務官は衆議院議員選舉事務の爲二月十九日來萩

林青島絲廠員は萩製絲工場視察の爲二月十九日來萩

山崎鐵道省建設局計畫課員は鐵道省經營自動車道路のことに關し物資輸送狀況調査の爲二月十日來萩

日野文部省囑託は史蹟調査の爲二月十二日來萩

城本内務省福岡地方職業紹介事務局書記は職業紹介所の要務を帯び二月十三日來萩

栗野日本労働學院長は衆議院議員立候補者として政見發表の爲二月十一日來萩

豊田前臺灣總督府内務局長、阿部前農林省事務次官松岡前滿鐵副總裁、藤田前代議士、久原房之助氏令嗣久原光夫氏は久原房之助氏應援の爲何れも二月十二日來萩

衆議院議員立候補者村岡吾一氏は藤内、伊藤兩下關市會議員、村岡拓務省囑託、姫井本縣會議員と共に政見發表の爲二月十四日來萩

下村本縣學務部長は衆議院議員選舉監視官として二月二十二日來萩

伊藤京都市崇仁小學校長は史蹟見學の爲二月二十四日來萩

衛生

● 子供の感冒には蚊帳を吊れ

部屋の温度が保たれ病氣の癒りが早い  
今年の流行性感冒は氣管支肺炎其の他の餘病を續發することが比較的に少い代りに却々治り難く、その上何時迄も咳が止まぬといふのがその特徴らしく、斯うした症狀を訴へるものが昨今可なり多く見受けられます、熱は殆ど出ぬこともあり出ても大した高熱ではなく、二三日して直ぐ下がりますが咳は残つて却々止みません、従つて治療法としては少し手遅れになると厄介ですが咳の出初めに適當な袂痰劑を服用すると早く治癒することが出來ます、萬一發熱



が容易に止まぬときには気管支肺炎、腸チブス等の  
 俣れがありますからこの兩者の症状の相異してゐる  
 點に就いて少し御注意しますと、気管支肺炎の場合  
 は腸に疼痛を覺ゆ、熱に比例して脈搏、呼吸數が多  
 くなります、それに反して腸チブスの場合には咳を  
 伴ふこともありますが、一體に體温の高さに比して  
 脈搏數が少いと云ふ差異があるので直ぐ區別が付き  
 ます、尤も肺炎と腸チブスを併發して來るときはこ  
 の限りではなく發熱に比例して脈搏數が増して來ま  
 す、最後に小兒が感冒に冒された場合ですが、座敷  
 一杯に蚊帳を吊つて火事を出さぬやう用心して暖房  
 裝置を施し湯氣を出して置きますと蚊帳に遮られて  
 溫度が保たれ然も蚊帳の目から不足なく換氣が行は  
 れるので適當な溫度と濕度が保全される結果、非常  
 に病兒の爲に良い結果を齎します、吸入などもこの  
 蚊帳の中で行ふ可きで小兒の口中へ直接蒸氣を通さ  
 なくとも蚊帳の中ならば子供に向つて唯蒸氣を當た  
 りけでも結構効能があります子供によつては吸入を  
 する際に吸入薬が顔に當ることを厭がる小兒があり  
 ます、かうした小兒には薄いガーゼを蒸氣の出る口

元に下げて一旦其處で薬品を漉した上で當ても別段  
 差支へなく吸入の目的を達することが出來ます、吸  
 入に用ふる薬品は大人なれば重曹のみで宜しいが、  
 子供ならば重曹ニプロセントと甘味をつける爲にグ  
 リセリンニプロセントを用ひ、更に食鹽を〇、五プ  
 ロセント程加へても結構です(東京市衛生試験所富  
 永哲夫氏談)

◎昭和五年一月以降死亡者  
 埋火葬別

二月		一月中		計	
火葬	埋葬	火葬	埋葬	火葬	埋葬
男	女	男	女	男	女
一三	一六	一九	二九	三二	二五
男	女	男	女	男	女
一八	三	六	一	二六	一四
計	計	計	計	計	計
三一	一九	二五	三〇	五七	三九

◎昭和五年一月以降傳染病  
 患者數

病名	二月中	一月中	計
赤痢	二八	一	二九
デフテリア	二八	一	二九
計	四八	二	五〇

◎昭和四年中本町現在人死  
 亡原因大別

死亡原因	男	女	計
法定傳染病に因るもの	二六	一八	四四
結核病及肋膜炎	四	一	五
腦膜炎及其他腦症に因るもの	五	四	九
心臟病及呼吸器病	五	五	一〇
老衰	三	一	四
外因	七	二	九
自他殺	五	二	七
その他の疾患に因る者	五	四	九
各種	四	一	五
腸胃病	二	一	三
肝臓及腎臓病	三	二	五
先天性弱質者	三	一	四
原因不明のもの	二	一	三
計	三六	三〇	六六

◎昭和四年中本町現在人死  
 亡者年齢大別

年齢	男	女	計
一歳より五歳まで	九	九	一八
六歳より十五歳まで	二七	二九	五六
十六歳より四十歳まで	七〇	五八	一二八
四十一歳より六十歳まで	四	五	九
六十一歳より七十歳まで	五	四	九
七十歳以上	八	一〇	一八
計	一三六	一三〇	二六六



### 人事

#### 萩町の人口動態

昭和五年二月中	婚姻	離婚	出生	死亡	死産
五〇	五	一三二	五七	一	
一月以降累計	九三	一六	二六八	三三四	

#### 二月中寄留者

出寄留	男	三八人	二九人	計	二月以降累計
	女	六人	七人	一三人	一七五人
退去	六人	七人	一三人	二二人	
入寄留	四一人	四八人	八九人	一五二人	
復歸	一一人	三人	一四人	二四人	

#### 受刑者

萩町に本籍を有する者にして關係司法裁判所より受刑の通知を受けたる者左の如し

罪名	現住する者	萩町に現住せざる者	計	一月以降の累計	前年一月以降の累計
賭博	1	3	3	6	3
詐欺横領	1	2	3	2	4
竊盗	1	2	3	2	4
機船底曳網漁業取締規則違反	1	1	2	5	4
傷害	1	1	2	1	2
失火	1	1	2	1	2
阿片煙販賣	1	1	2	1	2
陸軍々人服役令施行規則違反	1	1	2	1	2
暴力行為等處罰違反	1	1	2	1	2
自動車取締令違反	1	1	2	1	2
印紙税法違反	1	1	2	1	2
業務上過失致死	1	1	2	1	2
嬰兒殺	1	1	2	1	2

昭和五年二月中

### 雑事

山口縣警察犯處罰令違反	1	1	1	1	1
牛乳營業取締規則違反	1	1	1	1	1
計	3	2	5	2	6

#### パーラミター週間

本願寺特選布教師 守 重 哲 雄  
一、彼岸の語義 二、彼岸の起源 三、パーラミター週間

#### 一、彼岸の語義

彼岸櫻や彼岸團子、彼岸詣りてふ言葉使ひは春秋二季暑からず寒からず中和調適の好シイズンに誰れ人も口にはするが、本當の意味が徹底普及して居らぬ暑い寒ひも彼岸までてふ劃期的季節名と思はれてのみ居る。

抑も彼岸とは具さに到彼岸、梵語で「パーラミター」支那語に翻譯して波羅蜜多、其の意譯は右に擧げた到彼岸即ち生死の此岸から涅槃の彼岸に到る佛教各宗共通の目的轉迷開悟離苦得樂である。而して其の目的を達成する方法が六つある、所謂六波羅蜜多若は六度である、即ち布施持戒忍辱精進禪定智慧の六つである、之れが菩薩の修行である。

#### 二、彼岸の起源

通俗にお盆お彼岸と對照的に並稱しつゝあるがお盆即ち盆會は印度に始まり支那に傳はり日本に入りたる法會であるが彼岸會は我日本固有の佛事である、紀元一千三百八十四年人皇四十五代聖武天皇の御宇から創まりたので彼岸てふ文字が用ひられた表白文は聖德太子が四天王寺建立の時に遊心彼岸とある、而して日本固有と云ふに付て支那の大休禪師が「日本風俗春二月秋八月彼岸修崇の辰あり中道を教ゆる頃」と讚美してある、蓋し春秋二季は陰陽氣共均しく、且つ中日は恰も晝夜等分(イクオールナックス)で佛事修行に最も適當して居る、此の二季の中日は陛下親しく皇靈を御祭りあらせらる。



但し中古には皇靈祭の儀なく二月八月には禁裏の紫宸殿に百人の僧を請して大般若經を轉讀せしむ、之を季御讀經と云つたものである、明治維新以後所謂皇靈祭を行はせられ、此の日亦た御中日詣りと云つて天王寺を始め全国各地諸宗共に佛寺參詣展慕禮拜する習慣となりたのである、乃ち祖先崇敬の美風國民道徳の良俗として永久に持續させたいものである

三、バーラミター週間

第一項に掲げた六波羅蜜多即ち布施乃至智慧は固く是れ菩薩の修行にしてナカノノ難行苦行であるが予は之を吾人人間が行ひ得らる、現實的修養程度に於てヲール國民が智徳並進に努め以て精神文化の向上に資する方法としたいことを念とする。

乃て本月十八日から二十四日までの期間をバーラミター週間と名け低度の六バーラミターを人格完成の軌範社會生活の要諦として之を實踐躬行しませう。

1、布施 2、持戒 3、規律

規律に伴はぬ慈惠、昔の義賊今の共產黨の如きは共存共榮の眞理に背反して居る、恭儉己を持し(規律)博愛衆に及ぼす(布施)の勅語を體讀してこそ正義で

ある人道である。

3、忍辱 4、精進 5、耐忍 6、智慧 7、智識 8、勤勉 9、自強 10、自強息まざるべし(精進)の詔書を服膺せねばならぬ。

今上陛下朝見式の勅語に「我國の國是は日に進み日に新たにするにあり、而してひろく中外の史に徴し審かに得失の跡に鑑み(智慧)進ずや其の序に循ひ新たにするや其の中を執る是れ深く心を用ゆべき所なり(禪定)と現代の國際的世局を御軫念あらせられ其の用心を慇懃に指教し給ひてある。

斯の如く我佛教專門術語を現代語に翻譯し更に之を詔勅に照合して之を實踐躬行すれば此の週間は實に意義あるものとなる。

環中禪師の語に

一丈を説得せんよりは一尺を行取せんにしかず。一尺を説得せんよりは一寸を行取せんにしかず。言ふは易く行ふは難し、吾人は斯の週間にバーラミターの幾分たりとも行取しませう。

●寄贈圖書欄

◎金解禁前後の經濟事情

◎鮮滿旅行記

山口縣社會課 河内萩中學校長

●二月中萩町日誌

(本月報登載外のもの)

四日 本廳樓上に於て堀書記送別茶話會開催

五日 午後六時三十分頃西田町仲子福市氏方より出火の報ありしも大事に至らず鎮火せり

町公會堂に於て廣島遞信局講習生受驗執行

七日 午前二時頃吉田町喜樂館より出火の報ありしも大事に至らず鎮火せり

十二日 午後六時より明倫小學校講堂に於て衆議院議員候補者栗野谷藏氏の政見發表演說會開催

十二日 午後七時より町公會堂に於て衆議院議員候補者久原房之助氏の政見發表演說會開催

十四日 午後七時より町公會堂に於て衆議院議員候補者村岡吾一氏の政見發表演說會開催

補者村岡吾一氏の政見發表演說會開催

十七日 午前十時より縣社春日神社新年祭執行に付金子助役參向

午後七時より町公會堂に於て衆議院議員候補者中山太一氏の政見發表演說會開催

十八日 午前十時より縣社椿八幡宮新年祭執行に付金子助役參向

午後七時より町公會堂に於て衆議院議員候補者久原房之助氏の政見發表演說會開催

二十一日 午前十一時より縣社松陰神社新年祭執行に付林町長參向

二十五日 午後十一時より郷社住吉神社新年祭執行に付金子助役參向

●昨年の今月今日

一日 町衙に於て昭和産業博覽會出品物に關し協議會開催

三日 久邇宮元帥殿下東京豊島ヶ岡に於て葬儀御舉行遊ばさる。

七日 萩小線鐵道速成請願の件に付金子助役上京



- 十日 萩町聯合青年團主催青年講座を椿東區明安寺に開講
- 十一日 萩町善行者表彰式を舉行  
萩町聯合青年團主催青年講座を椿東區永照寺に開講
- 十二日 萩町聯合青年團主催青年講座を山田區白水小學校に開講  
午後七時より町公會堂に於て口腔に關する講演並活動寫真會開催
- 十三日 町公會堂に於て萩竹細工組合創立總會開催  
村町長列席
- 十八日 町衙に於て阿武郡町村長集會開催
- 十九日 町衙に於て長門峽管理組合開催
- 二十一日 魚市場委員會及都市計劃委員會開催
- 二十二日 學務委員會及産業調査委員會開催
- 二十三日 財政調査委員會開催
- 二十八日 昭和四年度萩町歳入出豫算附議の爲町會開催

◎ドイツ産業組織に現れた  
合理化運動 (其の三)

東京商工會議所調査課

最近コークスガスと綜合的硝酸との混合について研究されつゝあるが、この目的のために二會社が設立された。その一つはルーガス株式會社で資本金二千五百万マークで設立され、石炭および鋼鐵業聯合を背景としている。最近アメリカにおいて一千二百万ドルの社債に成功したとゆう。他の一つは、ルー化学株式會社で一九二七年に二千七百万マークの資本金で設立され綜合的アムモニアの製造を目的としている。現に年二万トンの固定硫酸を製造しつゝある前記のやうに、石炭工業と金屬工業との合同は比較的容易に、しかも非常な好成绩をもつて行はれた近時斯業は工場數多のため生産過剰に苦しみ、昨年度の如きは工場數二十に達したのかゝわらずその注文は戦前に比してもなほ著しく減少の状態であつたから同業者はこれが救済策をドイツ議會に建議したかやうに何れの産業も同一行程を辿つて合同の機運に向いつゝある。